

◆ 大会組手試合規定



試合基準

SJC、SSCの組手試合はJPN武術空手道協会の試合ルールに準じて行う。

有効な技	手技	中段への拳突き・肘打ち・手刀
	足技	急所や関節以外の攻撃【条件付】上段膝蹴り（中学生以上）・回転胴廻蹴り（全初級不可）
無効な技 (反則含む)	手技	掴み・引っ掛け、押し。体に掌底、鉄槌、貫手、孤拳、腕刀での攻撃（受身除く）
	足技	関節への攻撃、下腹含む金的【条件付】上段膝蹴り（小学生以下）・回転胴廻蹴り（全初級）

* 試合時間、シニア試割り判定基準は別紙参照

勝敗

- 勝利**
- 一本勝ち・判定勝ち・相手側の失格行為による、反則勝ち。
- 一本勝ち**
- 一、反則箇所を除く部分への突き、蹴り、肘を決め、相手を戦意喪失させた場合。
 - 一、「技あり」2回で一本勝ちとする。
- 技あり**
- 一、反則箇所を除く部分への突き、蹴り、肘を決め、相手が一時的に止まった場合、または、その攻撃で倒れた場合。
 - 一、上段蹴りは顔面への接触だけでは認めず、威力の具合を重視します。
 - 一、中段蹴りがタイミングよく決まり、相手が倒れたり、動きが止まって直後に相手に残心を決めた場合。
 - 一、足払いを含む下段蹴りがタイミングよく決まり、相手が倒れたり、動きが止まって、直後に相手に残心を決めた場合。
- 判定**
- 一、一本勝ちの決まらない時は判定で勝敗を決め、引き分けの時は延長戦を行なう。
 - * 三位決定戦や決勝戦は再延長戦をおこなう。
 - 一、延長戦（再延長）でも引き分けの場合は、体重測定をし、規定の差で軽い方が勝者とする。（別紙参照）
 - 一、規定体重差未満の場合は、最終延長をおこない、絶対判定とする。
 - * 最終延長戦の時間は本戦と同じ時間となる。
- 反則**
- 一、頻繁に手技による頭、顔面、首への攻撃は注意1とする。
 - 一、小学生以下、上段ヒザ蹴りは禁止。（中学生以上は有効、但し、膝サポーター要）
 - 一、初級全クラスにつき、回転胴回し蹴りは禁止。
 - 一、頭突き、股間、背面、倒れた相手への攻撃。
 - 一、体当たり、手押しをした場合。また、身体を密着させて相手の攻撃を封じた場合。
 - 一、場外へ逃げた（攻撃でのダメージ含む）場合。（3回目で減点1とする）
 - 一、手技足技を出した後、相手に攻撃をさせない為、故意に倒れ込む。「掛け逃げ」と判断された時。
 - 一、審判団の判断で悪質な反則攻撃や悪質な試合態度とみなされた時は即座に失格。
 - 一、反則は注意2回で減点1とし、4回目の注意で失格とする。
 - 一、選手の応援者が審判団や相手選手への中傷、罵声、暴言等をした場合は応援側の選手に対して減点又は失格。（対戦相手には敬意を持ちましょう）
 - * 「技あり」と「減点1」は相殺する。



特記

- ① 男子は胴衣上半身に下着着用は不可。女子は1枚（白か黒）とします。【清潔な物とします】
- ② テーピングは、怪我報告し、許可制とします。
- ③ サポーターは、布製のみに限る。【清潔な物のみ。臭いが強い場合は交換を命じます】